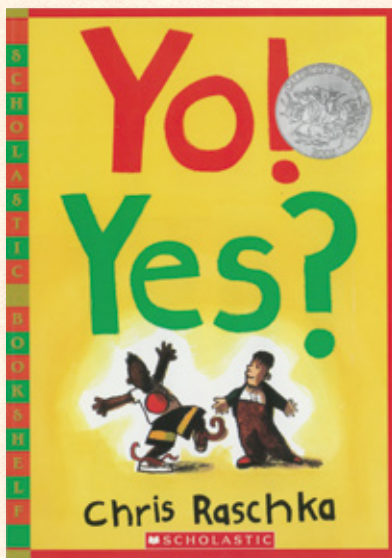


子どものための B O O K G U I D E

— 3 —



Yo! Yes?

著者: Chris Raschka

出版社: Scholastic

絵

本にもいろんな絵本があります。たとえば、大人には「?」としか思えないのに、子どもはゲラゲラ笑って、何度も繰り返し読む絵本。一方、大人でないと「!」というおもしろさや皮肉がわからない絵本。そして、大人も子どもも「!!」「!!」の絵本もあります。

たとえば、この絵本。

表紙を見てのとおり、黒人の男の子と白人の男の子が主人公……というか、この二人しか出てきません。中を開くと、左のページに元気そうな黒人の男の子、右のページにちょっと落ちこんでそうな白人の男の子、というじつにシンプルな構図です。そのうえ、左のページにも右のページにも、言葉は一つか二つ。

“Yo!”	“Yes?”
“Hey!”	“Who?”
“You!”	“Me?”
“Yes, you.”	“Oh.”

こんな感じ。シンプルな単語がいくつか並んでいる

だけなのですが、二人の気持ちが伝わってきます。途中で、白人の男の子は、友だちがいなくてさびしがっていることがわかります。すると、黒人の男の子が……。

最後までほとんど単語と単語だけのやりとりですが、深い内容なのです。そのうえ、単語が少ないというのに、この絵本には“yes”が6回も出てきます。そして、その6個は、それぞれにニュアンスが違う。じつによくできています。

これにChris Raschkaの絵が加わると、最高です。

この絵本、いろんな遊びができます。たとえば、まず文字を隠して、絵だけ見せて内容を想像させる。それから、一言か、二言、日本語を書かせてみる。絵がとてもよく二人の気持ちを表しているの、きつと内容をつかんでくれると思います。いや、もしかしたら、原作よりもおもしろいやりとりができあがるかもしれません。そのあとで、英語を見せて、意味を考える。

ほかにもいろんなふうに遊べるはずですよ。

金原瑞人

かねはら みずひと

岡山県生まれ。翻訳家、法政大学社会学部教授。法政大学文学部英文学科卒業後、同大学院修了。訳書は児童書、一般書、ノンフィクションなど500点以上。日本にヤングアダルト(YA)というジャンルを紹介。中学校英語教科書『COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE』(光村図書)の編集委員を務める。